

平成27年6月定例会教育委員会会議録

1. 開催日時 : 平成27年6月30日(火) 午前9時00分～午前10時35分

2. 会場 : 臼杵市役所 臼杵庁舎3階 301会議室

3. 出席委員 : 教育委員長 垂井 美千代
教育委員長職務代理者 野上 美智子
委員 神田 岳委
委員 渡辺 義弘
教育長 斎藤 克己

4. 出席職員

教育次長兼教育総務課長	廣田 誠一	文化・文化財課長	川野 義明
学校給食課長	斎藤 隆生	社会教育課長	矢野 晃
社会教育課社会教育振興監	白根 和孝	教育総務課総括課長代理	佐藤 忠久
学校教育課課長代理	斎藤 正雄	文化・文化財課課長代理	日高 昌幸
学校教育課指導主事	安東 憲雄	教育総務課副主幹	宇都宮 律子

5. 傍聴人 なし

6. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席委員数の報告を行います。

本日の出席委員 5名、欠席委員 0名で、出席委員が過半数に達しましたので、臼杵市教育委員会会議規則第3条の規定により本会は成立となりました。

(委員長)

これより臼杵市教育委員会、平成27年6月定例会を開催いたします。本日の委員会の会期は本日よりと致します。 会議録署名委員に渡辺委員、神田委員の2名を指名致します。

7. 教育長報告

(委員長)

次第2の教育長の報告を求めます。

(教育長)

5月29日に野津町都松地区にある溜池に、野津小の生徒1名と男性が転落して死亡するという痛ましい事故が起きました。お悔み申し上げます。経緯や対応については後ほど詳しく報告いたします。

それでは6月の主な行事を報告いたします。1日に社会教育委員の会議があり、今年度の社会教育の取り組み、協育ネットワーク、11月1日に臼杵市で開催される大分教育の日へのご協力をということをお願いいたしました。2日は豊後大野市で大分県教育委員会連合会定期総会が開催されました。私は議会の開会日だったため出席できませんでしたが、垂井委員長と野上委員に出席していただきました。4日の定例校長会では先ほど触れました、野津小の水難事故についての対応や児童への注意等についてお願いしました。6日に今年度初めての土曜ふれあい学校がありました。福良小では7月4日の土曜ふれあい学校の際に、今度解体する校舎のお別れ会を予定しているそうなので参加したいと思います。9日は首藤コレクション協議会総会が大分市で開催され、参加してきました。その後県立美術館で首藤コレクションの福田平八郎の「花菖蒲」を鑑賞してきました。私が美術館を訪問したときにちょうど市浜小の児童がいたのですが、高学年については引率の先生方の話をきちんと聞いて理解している様子で

したが、低学年については少し難しいのではないかと感じました。 11日に市制10周年記念事業で「BS日本のうた」の収録が市民会館で行われました。 11日と12日は6月定例市議会一般質問があり、5名の議員から質問がありました。平川議員からは「学校のエアコン整備について」と「臼杵の石橋を活かしたまちづくりをしてはどうか」、匹田議員からは「これまで読書のまちづくりを進めてきているが現状と成果について」、「図書館のリニューアル効果について」、戸匹議員からは「県立美術館の学校教育での活用について」、土谷議員からは「中学校の教科書採択にむけての教科書展示を一般人にも広く行ってはどうか」、「小学校におけるIT教育の推進について」、内藤議員からは「文化財について今臼杵にはどのようなものがあるか」、「個人所有の文化財についての管理」などがありました。 16日は経営本部会議があり、臼杵中央公民館の改修についての協議もありました。 17日に臼杵磨崖仏修理委員会があり、内容としては石仏の災害復旧の件について8月から工事に取り掛かれるということと、古園石仏の覆屋にシャッターを取付けることについての協議でした。 18日から26日まで新任教職員と教頭面談を行いました。事務職員を含め新しく教員になられた7名と教頭の5名ですが、私を知ってもらうことと、どのような人柄なのかを知りたいと思い実施しました。 20日は食育フェアと給食フェスタがありました。昨年までは別々に行っていましたが、今年からは一緒に中央公民館で実施しましたところ、多くの方に来ていただきました。 22日臼杵小で里帰り授業があり、水球の元オリンピック選手の橋本さんに講演と水泳指導を行っていただきました。橋本さんには引き続き26日に臼杵小で行われた水泳安全管理講習会で着衣水泳の難しさと対応の仕方等も教えていただきました。併せて消防署職員による救急救命講習も行われました。 23日は臼杵石仏国宝指定20周年記念式典があり垂井委員長と参加してきました。同日文化財調査委員会が開かれ、二孝女関連資料の文化財市指定について協議していただきました。 24日に教育ネットワーク連携研修会が開催されました。これは「おおいた学びの輪推進事業」を活用した研修です。後ほど説明があると思います。 25日は豊洋中と北中の音楽合同授業を行いました。これは初めての試みでしたが、生徒たちは次第に打ち解けて授業に取り組むことができたと感じました。 今日から7月2日までの日程で文化・文化財課の岡村君が常陸太田市へ行っております。これは歴史資料館で「つゆとよきの歩んだ道」という企画展示があるのですがそのための資料を借り受けに行っております。それから7月16日に第1回目の臼杵市総合教育会議が行われます。市長の招集のもと、教育委員からの意見をいただく会議です。教育大綱についての話があると聞いています。以上で報告を終わります。

(委員長)

教育長の報告が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(無しの声あり)

(委員長)

先ほど教育長報告にもありました大分県教育委員会連合会の総会で、講演に来ていた文科省の職員の方の説明は地域コミュニティスクールの必要性について、先進的な取り組みをしている学校を取り上げて説明していました。とても良い取り組みであるので、今後も地域と一体となってさらに推し進めて広めて行ってほしいし、文科省としても補助をしていく方向とのことでした。

特に質問が無ければ以上で教育長報告を終わります。

8. 議案

(委員長)

これより次第3の協議事項に移ります。

第32号議案の臼杵市教科用図書選定委員会設置要綱の制定について説明をお願いします。

(学校教育課長)

4年に1回教科書選定委員会が開催されるのですが、その設置要綱について定めるものです。任期については7月1日から8月31日までとなっております。教科用図書はこの選定委員会を選定するのですが、その前段階の教科書調査をするための調査委員会という組織を立ち上げております。今年度は中学校の教科書の採択ということで、中学校のそれぞれの教科の代表の先生に教科書の調査をお願いしております。臼杵市だけでの調査は難しいので大分市・臼杵市・津久見市・由布市合同で会議を持ち、調査結果を出してもらっています。選定委員会は7月27日に開催しますので、その会議で教科書を選んでいただき、最終的には来月の教育委員会で決定という流れになっています。

(委員長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(渡辺委員)

今年から道徳が教科になるということですが、その教科書についても選定する予定ですか。

(学校教育課長)

教科になるのかどうかははっきり確認できていなくて申し訳ありませんが、他の教科と同じように選定するようになっています。

(委員長)

他に質疑等がありましたらお願いします。

(無しの声あり)

(委員長)

第32号議案の臼杵市教科用図書選定委員会設置要綱の制定については、承認してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

(委員長)

それでは、承認することといたします。

次に第33号議案の市指定文化財の指定について説明をお願いします。

(文化・文化財課長)

二孝女の子孫にあたる野津町在住の川野美智代さん所有の二孝女資料について、6月23日に開催された平成27年度第1回臼杵市文化財調査委員会で諮問した結果、臼杵市指定文化財にするべきであるとの答申がありましたので、臼杵市文化財保護条例第4条の規定に基づき指定するものです。数量は18件、167点あり、二孝女宛てに送られた短冊、書状、絵画、石碑が建てられた件に関する資料も数多く残っております。このような重要な資料の散逸を防ぐ意味でも市指定文化財として保管し、さらに今後調査も進めて行きたいと考えております。

(委員長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(無しの声あり)

(委員長)

第33号議案の市指定文化財の指定については、承認してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

(委員長)

それでは、承認することといたします。

9. 学力向上について

(委員長)

次第4の学力向上について説明を求めます。

(学校教育課長)

臼杵市中学校授業力向上プロジェクト2015については前回の委員会でもご説明しておりますが、実際少しずつ動き出しており、今回その報告をしたいと思います。6月23日授業視察へ市内の中学校数学科教師7名と下ノ江小校長の安藤臼教研班長、村松指導主事と私の10名で、竹田市南部中学校の後藤教諭の授業を見に行ってきました。この授業は学力向上支援授業ということで県内各郡市代表の先生方が集まっております、市全体が参加したのは臼杵市だけでした。行われていたのは問題解決的な授業にICTを使いながら発表させるというようなものでした。授業を見た後研究協議があり、その時に日頃の授業についてのアンケートを数学の教諭に実施しております。アンケートの内容については、授業改善について、生徒の学力把握状況はどうか、ICTを活用できているか、授業について困りがあるかなどです。6月25日に臼教研教科部会がありましたのでそのアンケートを基に臼杵市の現状や授業改善の必要性、問題解決型授業について指導主事から説明いたしました。今後の日程についてですが、各自の授業改善プランに基づき授業観察、板書撮影、習熟度別指導推進教員、指導主事の学校訪問などを行い、1月の臼杵市基礎基本テストの結果を分析し次のステップに進みたいと考えています。国語科と英語科についても同様にアンケート実施済みで、それに基づいて授業改善に取り組んで行くことになっております。

県の学力テストの結果が当初は6月末に到着する予定だったのですが、問い合わせたところ7月7日に到着するということでした。これについては7月の定例教育委員会にて報告いたします。

(委員長)

学力向上につきまして、学校教育課長より説明がありました。皆さんご意見やお気付きの点があれば発言をお願いします。

(教育長)

アンケートの結果について集計して出せるものがありますか。

(学校教育課長)

集計したものはありますが本日は用意していませんので、次回提出いたします。

(委員長)

土曜ふれあい授業や臼教研の教科部会などで授業を見る機会がありまして、小学校の高学年の児童が非常に気になるのですが、文書の音読がスラスラできない生徒が教室に何人かいる。大分市では小学校低学年から、国語の宿題で必ず音読を1～2ページさせて保護者から聞いてもらうという家庭学習をやっています。算数についても同様に足し算引き算カードなどを作ってやっています。臼杵市でもやっていると聞いていますが、それでも音読がスラスラできない中学1年生がいるし、漢字が書けないし読めないし意味が分からないという生徒もいる。もう一つ気になるのが、小6でも中1でも汚くて読めない文字を書いたり、薄くて小さくて判読できないような文字を書いたりするような生徒が机間巡回をしていると見かけます。そういう生徒は良くない鉛筆の持ち方をしていたりもします。それから初めて出会った漢字については必ずチェックをして、正しく書けるように読めるように意味がわかるようにというのが国語科の出発であり約束であろうというのに、それをきちんとしないで板書がどうだとか、グループ学習がどうだという場合ではない。子ども達が社会に出てから困るのではないか、一番底辺のところ

をどうにかしようと国語科では話が出ました。きちんと底上げをして高校生・社会人にするというのが大事ではないかということも話しました。学力テストの点数アップももちろん大事なことですし、植物で例えると花や枝のようなものだと思いますが、それを支える根の部分を誰が評価して修正をしていくかということも義務教育なのだから責任を持たなくてはならない。やはり基礎基本の底上げが全体の学力向上には必要ではないかと感じました。

(委員長)

他にご質問等のある方はお願いします。

(無しの声あり)

10. 教育予算等について

(委員長)

次第5の教育予算等について何かご意見やご要望がありませんか。

(無しの声あり)

11. その他

(委員長)

それでは次第6に入ります。各課より報告をお願いします。

(教育次長)

まず小中学校の耐震化について報告いたします。臼杵市は県下でも耐震化率が低い方でしたが、この夏休み期間に下ノ江小・下北小・下南小・市浜小・南中・西中の6校の耐震補強工事を行っており、それが終了すると耐震化率100%となります。次に福良ヶ丘小管理教室棟増改築工事の進捗状況についてですが、7月24日が工期となっております、現在ほぼ完成しています。先ほど教育長よりお話がありましたが、今週の土曜ふれあい学校で校舎に感謝する会をするそうです。子ども達が古い校舎にペイントをしたりしてお別れをするそうです。古い校舎については9月末までの工期で解体工事を行います。これから入札を行い、夏休み中にできるだけ音の出る工事について終わる予定となっております。特別教室棟改築工事については9月議会で承認をもらい、年度末までに完成する予定です。

もう一件、公立幼稚園の今後について報告いたします。今後の在り方を子育て支援室の公立保育園と一緒に検討しております。まだ決定ではありませんが、方向性としては保育園の方が幼児教育のニーズ、幼稚園の方が延長保育のニーズがそれぞれ高いということもありまして、子育て支援室においては幼稚園と保育園が一緒になった認定こども園の設置計画をしております。そうなれば臼杵地域はそれぞれのニーズを満たすことが可能だと考えられますので、教育委員会としても一緒に検討していきたいと考えています。野津幼稚園につきましては地域性などもありますので、とりあえずはこのまま公立幼稚園を存続させることを検討しております。幼稚園の在り方については皆様方のご意見もお聞きしながら、これからも検討を続けていきたいと考えています。

(委員長)

報告が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(無しの声あり)

(委員長)

無いようでしたら次の報告をお願いします。

(文化・文化財課長)

お手元に歴史資料館の9月展示について資料をお配りしています。今回は二孝女関連の展示となっております、川登地区の川野家に伝わる資料や常陸太田市からお借りする資料、つゆとときが過ぎた場所の

絵図等を展示することになっております。古園石仏の災害復旧工事についてですが、昨年末から民地に部分の交渉に時間を要しましたが、地権者との交渉が整い所有権移転登記が終わりました。7月10日に入札を行い、8月に着工し、完了は12月というスケジュールになっております。地盤が固まりましたら10月頃から覆屋の改修工事も行う予定となっております。歴史資料館の大友宗麟展については日高課長代理より説明いたします。

(文化・文化財課課長代理)

大友宗麟展についてですが、平戸の松浦史料博物館が所蔵している大友宗麟の甲冑等をお借りして展示することができることになりましたので、当初の予定を変更してJRデスティネーションキャンペーンに併せて開催することになりました。展示品としては大友家臣団が贈った書状や、レプリカではありますが大友宗麟が着用した甲冑と織田信長が着用した甲冑もあります。配布しておりますチラシをご覧ください。

(委員長)

次の報告をお願いします。

(社会教育課長)

社会教育課の事業について4点報告とお願いがあります。資料に沿って説明いたします。1点目は今年度の重点目標に掲げました「協育コーディネーターを介した協育ネットワークの構築」の研修の一環として県の事業ではありますが、「おおいた学びの輪推進事業」臼杵コースについてです。目的等はお手元の資料のとおり協育ネットワークの構築を推進する中核的な人材の育成です。先週より研修を始めており来年の2月まで行われます。2点目は平成27年度中学3年生夏休み教室についてです。こちらも協育ネットワーク推進事業の一環として、受験を控えた中学3年生の希望者を対象に臼杵野津両公民館で5日間行われます。3点目は臼杵市で社会教育主事講習会が3日間行われます。研修のポイントについては資料の中程にありますように臼杵らしい「協育活動」の体験と、それぞれの実践者の話を聞くことで地域課題に対応する力を養い、社会教育行政の可能性と広がり気付くきっかけにしてほしいということです。タイムスケジュールについては資料の裏面に掲載しております。4点目は山内流についてです。今年も7月20日から8月9日までの21日間、中津浦の鯉来ヶ浜で行われます。山内流に関しては8月14日に日本水泳連盟の大会が開催されますが、水泳連盟の鈴木大地会長が山内流の旗振りに感銘を受けたため、ぜひその大会で旗振りの演技を披露してほしいとの依頼があり、東京へ5名行くことになっております。

(野上委員)

社会教育主事の研修対象者はどなたになるのですか。

(社会教育課長)

今回は九州大学の学生です。大学で希望者を募って参加するとのこと。

(委員長)

他にありませんか。無ければ次の報告をお願いします。

(学校教育課長)

学校教育課からは2点報告があります。1点目は西中学校における生徒指導についてです。中学校の現状については以前の委員会で校長より報告があったとおりですが、その後の取組について資料をお配りしております。県教委・警察・スクールカウンセラー等外部の方に指導協力を仰ぎ観察していただきました。それを受けまして6月26日にその内の1人の生徒について保護者を交えて会議を行い、保護者から児童相談所へ相談したいとの申し出がありました。学校としては児童相談所で見てもらい、医

療機関へ繋げたいという考えです。他の生徒については今後もケース会議をしていきたいと考えています。しかし保護者についてはずいぶん学校と一緒に子どもを良くしようと協力してくれるように変化してきたのですが、肝心の生徒は何度指導してもなかなか変わらないというのが現状です。中学校もあきらめずに今後も粘り強く指導していきたいと言っていました。

2点目は野津小学校の水難事故についてです。報告書をお配りしておりますのでご覧ください。事故の概要についてはご存じのとおりですが、その後の対応を報告いたします。事故発生の後、県のこころの緊急支援活動チームへ連絡をし、必要が生じた際の協力依頼をしました。CRTとって、学校で命に関わるような大変な事件が発生したとき、緊急に専門家の方たちが集まって組織され、学校の対応などを指導してくれるチームの派遣をしてくれることになりましたが、3日間限定での対応とのことで、事故発生の翌日の土曜日から月曜日までの3日間、学校へ入って直接対応してもらえることになりました。土曜日の午後から校長・教頭とCRTの方々と一緒に学校で今後の対応を協議しました。日曜日に葬儀が行われ、それに出席させてもらった後に、指導主事も同席して会議をしました。CRTがどうして良いのかというと、それぞれの役割に応じてやることを割り振りしていただけるということです。市教委はこれを、学校はこれを、福祉課はこれをしなさいと明確にいただけるので、自分たちがやるべきことだけに集中できるし、対応も組織的にスムーズにできます。それと一番ダメージを受けている子ども達の様子や家庭の様子を見まわりしてくれるのも助かりました。いよいよ月曜日の生徒が登校してくる日に私と村松指導主事で朝から野津小に行き、登下校や学校の様子を見てきました。朝の職員会議にもCRTの方に出ていただき先生方と打ち合わせをしております。その後体育館で全校集会があり、校長より全校生徒に事故の説明がありました。市教委としては福祉課との連携を含めて考えておりますので午後のCRTの会議へ家庭児童相談員の同席を依頼しました。各学級においても担任から改めて児童へ説明を行いました。その際亡くなった児童が在籍していた2年生のクラスでは担任の精神的ダメージが大きく、説明するのが困難であったため、担任同席のうえ副担任から子ども達へ説明を行いました。私もその場に居ましたが、子ども達は冷静に受け止めているようでした。感受性の強い子がいて涙を流すということもありましたが他には大きな混乱はありませんでした。その日は小学校を見た後に中学校へも行ってみました。亡くなられた子のお兄さんが中学校に在籍しておりますので、登校するようになったら充分な見守りをとお願ひしました。カウンセラーがついて対応していただいております。火曜日からはCRTの指示のもと、精神的ダメージの大きい担任の代替として安東指導主事が授業を行いました。その間担任はカウンセリングを受けるなどして立ち直るように努めております。その週は県のスクールカウンセラーに毎日学校に常駐してもらいました。助かった児童も登校しておりまして、徐々に以前の様子を取り戻しているようです。その事故を受けまして元オリンピック選手の橋本氏をお招きしての着衣水泳や水泳指導における安全管理、消防職員による救急救命の指導、AEDの講習などを行い、二度とこのような事故が起こらないように努力しているところです。

(委員長)

ご意見等ありませんか。

(野上委員)

西中の件では色んな検証をなさっていると思いますが、先生方の疲労感も大きいとの報告もあり、それは解消されていないようですね。臼杵市には退職警察官によるスクールサポーターのような方はいないのですか。

(学校教育課長)

今は臼杵市にそのような方はいません。派遣依頼をしてもなかなかいつでも来られるという訳ではないので苦慮しているところです。

(野上委員)

野津小の担任の先生は元気になられたのですか。校長はどうですか。

(学校教育課長)

担任について今は回復しておりますし、校長も頑張っています。

(委員長)

他にはありませんか。

それでは以上で、平成27年6月定例教育委員会を閉会します。

会議録署名委員

会議録署名委員

会議録作成者
